



プレスリリース: 2016年12月26日
トピック: サーバー/ストレージ/ネットワーク

HPE、コンポーザブル・インフラをクラウドおよびハイパーコンバージドソリューションに拡張

- 「HPE Synergy with HPE Helion CloudSystem 10」と、ハイパーコンバージド製品の機能強化により、ハイブリッドITの簡素化を実現 -

2016年12月26日

日本ヒューレット・パッカード株式会社

本リリースは、ヒューレット・パッカード・エンタープライズ(本社: 米国カリフォルニア州パロアルト、以下: HPE)が、2016年11月29日(現地時間)にロンドンで発表した英文リリースに基づいて作成した日本語抄訳です。

HPEは本日、新しいハイブリッドクラウド向け製品の追加、およびHPEハイパーコンバージドシステムの技術拡張による、コンポーザブル・インフラストラクチャへの取り組みの強化を発表しました。「HPE Synergy」のフルプログラム可能なインフラをHPEのマルチクラウドプラットフォームに拡張し、「HPE Hyper Converged 380」のソフトウェアを強化することで、HPEは企業のIT部門が自社ユーザーのニーズに合わせて迅速にソフトウェア定義インフラを提供することを可能にしました。新しいソリューションは以下の通りです。

「HPE Synergy with HPE Helion CloudSystem 10」は、HPEのOpenStack®技術をベースとしたハイブリッドクラウドプラットフォームにおいて、コンピューティング、ストレージおよびファブリックにわたる完全なコンポーザビリティを実現し、ベアメタル、仮想化、コンテナ化、およびクラウドネイティブのアプリケーションをひとつのインフラ上で実行します。また、リソースのコンポーズと再コンポーズを動的に行い、これまでになかった俊敏さと効率を可能にします。

HPEのソフトウェアデファインドデータセンター担当シニアバイスプレジデント兼ジェネラルマネージャーであるリック・ルイス(Ric Lewis)は次のように述べています。「お客様のビジネスニーズは極めて急速に変化するため、その変化に対応することのできるインフラプラットフォームが求められています。「HPE Synergy」では新たなクラスのインフラが実現され、パブリッククラウドが持つスピード、効率、および柔軟性をオンプレミスに提供するため、企業のIT部門はインフラのメンテナンスではなく社内のサービスプロバイダーとしての活動に注力できるようになります。このようにコンポーザブル・インフラストラクチャをHPEのクラウドとハイパーコンバージド製品に拡張したことにより、ハイブリッドITがお客様にとってさらに簡単なものとなりました。」

今日の企業向け開発者の間では、より俊敏なマイクロサービスとコンテナを使い、新しいクラウドネイティブのアプリケーションを構築する傾向が高まっています。同時に、開発者は従来のアプリケーションを「as-a-service」モデルに移行しているため、両方の運用環境をサポートするインフラが求められています。「HPE Synergy」は、インフラをコードとして扱うコンポーザブル・インフラストラクチャプラットフォームを業界で初めて提供し、開発者によるアプリケーション提供の迅速化を支援しています。様々な産業で100社近いお客様がすでに「HPE Synergy」を成功裏に導入していますが、今回すべての地域で提供が開始されました。

Liberty Global社のデータセンターテクノロジー担当バイスプレジデントであるコリン・マイルズ(Colin Miles)氏は次のように述べています。「欧州全土のモバイル、TV、およびブロードバンド分野のお客様からの多様なニーズに応えるため、当社はHPEに支援を要請しました。HPE Synergyの早期導入カスタマーの1社として、Liberty Globalは、コードとしてのインフラ提供を支援する革新的なソリューションを迅速に提供することができました。当社が求めていた、クラウドと同等な体験を自社のデータセンターにおいて実現できる環境へと一歩近づきました。」

「HPE Synergy with HPE Helion CloudSystem 10」: コンポーザブル・インフラストラクチャ上に構築されたプライベートクラウドを業界で初めて提供

「HPE Synergy with HPE Helion CloudSystem 10」は、従来のアプリケーションとクラウドネイティブのアプリケーションの両方を、オンプレミスのIT環境において運用することを可能にします。「HPE Helion CloudSystem 10」により、ITオペレータはリソースを数分単位でコンポーズできるため、従来のIT環境からハイブリッドIT環境への移行が容易になります。管理自動化とインフラ利用状況の改善を通じ、より効果的なクラウドサービスをより低コストで利用できるようになります。

「HPE Synergy」と「HPE Helion CloudSystem 10」には、いずれもHPEのインフラ管理/自動化システムソフトウェアである「HPE OneView」が組み込まれ、共通インターフェイスを通じてインフラリソースを発見、管理、および指定する機能を提供しています。これによりIT部門は、ワークロードに合った適切なインフラを選定することができ、コントロールとコンプライアンスを維持しながら開発サイクルを短縮します。

お客様はまた、Composable Infrastructure Partner Programを通じてHPEが構築した、幅広いエコシステムも利用いただけます。これにはChef、Docker、SaltStack、Puppetなどのツールに基づく提携に加え、「HPE OneView API」の組み込みを通じたMicrosoft、VMware、SUSE、およびRed Hatなど、従来からのパートナーも含まれています。

「HPE Hyper Converged Operating Environment」: ハイパーコンバージドシステムにコンポーザブルな管理機能を提供

供)

「HPE Hyper Converged Operating Environment」ソフトウェアアップデートに伴い、オールインワンのソフトウェア定義仮想化ソリューションである「HPE Hyper Converged 380」に、コンポーザブルな管理機能が新たに加われました。この強化によってIT部門は、各部署への社内サービスプロバイダーとして、仮想化されたアプリケーションをクラウドレベルの効率で提供できるようになります。

このアップデートでは、IT部門がひとつのリソースプールから仮想化された環境を迅速かつ容易にコンポーズおよび再コンポーズすることのできる、新しいマルチテナントのワークスペースが導入されました。これによりIT部門は、個人や作業グループのそれぞれのニーズに合わせた環境を速やかに提供し、社内各部署は利用可能なリソースをより効率的に活用することが可能になります。今回のアップデートにより分析機能も組み込まれ、IT部門には必要なリソースを必要なタイミングで提供すると共に将来のニーズを予測するための洞察が得られ、開発者が必要性を認識する前に容量を追加できるようになりました。

IT部門は社内のサービスプロバイダーとして直感的なセルフサービスのポータルを提供し、社内各部署は自らの仮想環境においてクラウドレベルの速度でアプリケーションを開発および展開するため、必要なリソースにより迅速にアクセスできるようになります。

HPEがコンポーザブル・インフラストラクチャを使い、どのようにハイブリッドITを簡素化するかの詳細については以下サイトをご覧ください(英文)。

<https://www.hpe.com/us/en/newsroom/news-archive/featured-article/2016/11/Taking-Composable-Infrastructure-to-the-Next-Level-HPE-Unveils-Software-Defined-Upgrades-to-Simplify-Hybrid-IT.html>

〈HPE Services: お客様によるコンポーザブル・インフラストラクチャ導入とその利用を支援〉

お客様はクラウドの機能を容易に展開できるだけでなく、「HPE Flexible Capacity Service」を通じてこれらのソリューションをクラウドと同等な価格帯で消費できるようにもなります。これにより必要に応じて容量を拡大縮小し、使用した分だけ費用を負担することが可能になります。Flexible Capacityはまた、アジャイルなマイクロサービスを使用する、クラウドネイティブなアプリケーションを持つお客様を、商業的にサポートされているDocker Engineの使用状況に基づく費用設定によって支援します。このような「HPE Flexible Capacity」の利用を通じ、クラウド調達で一般的なように、オンプレミスのサービス調達費用をVMごとに請求できるようになります。

お客様がこれらの新しいソリューションによる価値実現までの期間を短縮できるよう、HPEはお客様がコンポーザブル・インフラストラクチャとハイパーコンバージドソリューションを迅速に導入し、それを活用することを支援する新しい「HPE Technology Services」も提供します。新しい「HPE Synergy Rapid Advisory Service」は、コンポーザブルインフラストラクチャによる機能をIT分野の直近の課題に合わせて最大限に活用するための使用事例を検証します。また「HPE Software-Defined Infrastructure」ワークショップと戦略的アーキテクチャサービスは、問題解決に向けたお客様の取り組みを加速します。

■ プレスルーム

<https://www.hpe.com/jp/ja/newsroom.html>

#

文中の社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

■ お客様からのお問い合わせ先

カスタマー・インフォメーションセンター

TEL: 0120-268-186 (携帯、PHS: 03-5749-8279)

ホームページ: <http://www.hpe.com/jp/>